

男の料理教室&よるごはん ~ 鰻を捌(さば)く ~



9月の「男の料理教室」と、10月の「よるごはん」は、共に鰻をさばきました。ゼイゴを切り、頭を落とし三枚におろすまではなんとかクリアー。難しいのが、皮はぎです!! 皮をはいてはいるつもりが身を落としてしまい「だんだん切り身が小さくなっていくーう」と声がか細く聞こえてきました。改めて、園田シェフの腕の凄さに脱帽!



ちびっ子サロン ~ 世代間交流 ~



少子化が進む中、相反して子育てに不安を生じる母親の孤立が多くみられる様になりました。母親の他人との交わりでゆとりや子育てを楽しんでもらおうと平成15年よりスタートした「五和 ちびっ子サロン」。今回はお年寄とのふれあいで笑顔と元気をもらう場になりました。(手島千恵主任児童委員原稿)

「まあ愛らしい!」おばあちゃんの笑顔で始まった10月のちびっ子サロンは、日園ケアセンターとの交流会。上は、95歳から下は5ヶ月までの乳幼児とママ達32名。ハーモニカによる唱歌やゲームあそびを楽しみ、抱っこや握手のふれあいにお互い元気をもらいました。(手島千恵主任児童委員原稿)



幸齢者マナビ塾~6年生家庭科指導支援~



完成した自分の作品を誇らしげに胸に掲げ、支援者の杉本さん・木下さん・古賀さんと担任の清瀧先生と写真に納まりました。(上写真)



あんね、ここはこげえするといはい!

支援者と児童の教え合う雰囲気がお友達同士の教えに広がっていきます!(上写真)

10月10日(火)石井小学校の6年生家庭科の時間に、公民館「幸齢者マナビ塾」の受講生である杉本ミチ子さん、木下澄子さん、古賀喜代子さんがミシン指導の支援に出向きました。杉本さん、木下さん、古賀さんは、「ポータブルミシンは馴染みが無いけんねえ・・・」言いながらも、慣れた手つきで子ども達にゆったりとした気持ちで教えて下さいました。子どもたちからの尊敬のまなざしを受けているのが伝わってきて、世代間の交流が出来ていました。完成したナップサックは、10月20日、21日の修学旅行での持参品だそうです。ほとんどの児童が完成し、修学旅行の持ち物の準備が一つ出来ました。「ナップサック」という児童達には学校生活の中で出番の多いアイテムだけにミシン縫いや手縫いや名札のアイロンかけにも真剣な態度で取り組んでいました。自分で選んだ布の柄にそれぞれの個性が出ていました。

東部包括支援センターからお知らせ!



【これからの季節の健康管理】

今からの時期「冷え」で悩む人が多いのではないのでしょうか。体温が1度上がると、免疫力は約6倍ともいわれます。自己免疫力を上げて、風邪をひきにくい健康な体づくりをしましょう。どんなに外から体を温めても、体の中が冷たくては効果がありません。食べ物から得るエネルギーで体を温めましょう。



【おすすめの食品】

- 生姜・ネギ・にんにく、
- 根菜類(ごぼう、にんじん、山芋、こんにゃく)
- 豚肉・鶏肉・卵
- 赤身の魚
- など



学
校
支
援